

市町村名		宮古島市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	観光拠点施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ 観光客の受入体制の整備			
担当部課名	観光商工 スポーツ部	観光商工課	事業実施 年度	平成 27	～ 令和 1	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所		
事業内容	観光誘客及び満足度向上を図るため、伊良部大橋橋詰め広場に観光案内所・特産品販売所・レストラン等の複合的機能を有する新たな観光地拠点施設を整備する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )							
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計		
	A. 予算現額	267,983				267,983		
	B. 執行済額	259,603				259,603		
	うち 交付金充当額	207,683				207,683		
	執行率(%) (B/A)	96.9%				96.9%		
執行状況の説明	管理業務委託料の算定基準が改定されたことによる不用額(△2,255千円)と、備品購入費の入札残による不用額(△814千円)が生じた。また、工事においては設計変更にともない増額したものの、入札残による不用額(△5,311千円)が生じた。							
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
				R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	観光拠点施設の工事	目標	工事実施	-	-	-	-	
		実績	工事実施	-	-	-	-	
	備品購入	目標	備品購入	-	-	-	-	
		実績	備品購入	-	-	-	-	
		目標						
		実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
				R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	観光拠点施設の工事の完了	目標	工事の完了	-	-	-	-	
		実績	工事の完了	-	-	-	-	
	備品購入の完了	目標	備品購入完了	-	-	-	-	
		実績	備品購入完了	-	-	-	-	
		目標						
		実績						

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)	達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R2年度	R3年度	年度	年度	R3年度 目標/発現年度
	年間利用客数	目標	37,560人	37,560人	—	—	37,560人
		実績	34,338人	37,491人	—	—	37,491人
	観光客の満足度向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	80%以上	80%以上	—	—	80%以上
実績		—	96.5%	—	—	96.5%	
状況説明	<p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言やまん延防止措置に伴う渡航自粛要請等の影響があり、年間利用客数は34,338人となり、目標を下回ったものの、目標数値の91.4%となった。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響によりアンケートを実施することができなかった。</li> </ul> <p>【R3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言やまん延防止措置に伴う渡航自粛要請等の影響があり、年間利用客数は37,491人となり、目標を下回ったものの、目標数値の92.6%となり、令和2年度と比して利用者数は増加した。</li> <li>観光客満足度は96.5%となり、目標を大幅に上回った。</li> </ul> <p>【 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>.</li> </ul>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開業が6月であったことや新型コロナウイルス感染症の影響により休業した期間があったことを鑑みると、利用客数は目標を下回ったものの、事業効果の発現が確認できた。</li> </ul> <p>【R3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により休業期間があった。利用客数は目標を若干下回ったものの、満足度は目標を達成することができ、事業効果の発現が確認できた。</li> </ul> <p>【 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>.</li> </ul>			<p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>販売する土産品/特産品の種類を充実させ、レストランのメニュー開発/改善を行うなど、満足度の向上につながる取組を進めていく。</li> </ul> <p>【R3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土産品/特産品の充実を進めており、レストランのメニューも改善を経て好評となっているため、さらなる情報発信の取組を進めていく。</li> </ul> <p>【 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>.</li> </ul>				
<b>今後の取り組み方針</b> (関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者と連携を図り、観光拠点施設として多言語対応などに取組むとともに、施設の認知度向上のため情報発信を行い、利用促進に取り組んでいく。</li> </ul> <p>【R3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者と連携し、施設の魅力発信のためホームページやSNSなどでのPRに取り組んでいくとともに、多言語対応やキャッシュレス対応など利便性を向上させる取組を進める。</li> </ul> <p>【 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>.</li> </ul>							

市町村名		宮古島市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	伊良部地区観光地総合整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ 観光客の受入体制の整備		
担当部課名	観光商工スポーツ部	観光商工課	事業実施 年度	平成 28 ~ 令和 2 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	観光客の利便性向上を図るため通り池駐車場の整備を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計	
	A. 予算現額	60,393				60,393	
	B. 執行済額	60,393				60,393	
	うち 交付金充当額	48,314				48,314	
	執行率(%) (B/A)	100.0%				100.0%	
執行状況の説明	計画通りに執行することができた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	通り池の駐車場整備工事	目標	工事実施	-	-	-	-
		実績	工事実施	-	-	-	-
		目標		-	-	-	-
		実績		-	-	-	-
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	通り池駐車場整備工事の完了	目標	工事完了	-	-	-	-
		実績	工事完了	-	-	-	-
		目標		-	-	-	-
		実績		-	-	-	-
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果			R2年度	R3年度 目標/発現年度			R3年度 目標/発現年度
	観光客の満足度向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標	80%以上	80%以上	-	-	80%以上
			実績	-	96.50%	-	-	96.50%
			目標	-	-	-	-	-
実績			-	-	-	-	-	
状況説明	<p>【R2年度】 ・新型コロナウイルス感染症の影響によりアンケートを実施することができなかった。</p> <p>【R3年度】 ・観光客満足度は96.5%となり、目標を大幅に上回った。</p> <p>【 年度】 ・</p>							
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)				【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【R3年度】 ・観光雑誌で取り上げられる等観光地としての注目度が高まっていることから当該施設の更なる活用促進が期待できる。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>				<p>【R3年度】 ・駐車場を整備したことにより、利便性、安全性が保たれた施設管理が可能となるので、今後は当該施設における集客効果及び観光客の満足度の向上を図っていく。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>				
<b>今後の取り組み方針</b> (関連・同種事業へのフィードバック等)								
<p>【R3年度】 ・通り池駐車場の適正な管理により、宮古島市を訪れる観光客の満足度を向上させる。          ・観光誘客イベント等で更なる認知度向上や魅力の発信等を行う。          ・観光雑誌、パンフレット等へ日本語・外国語で施設場所の標記を行い、観光客への魅力の発信と認知度向上を図る。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>								

市町村名		宮古島市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	新城海岸環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ 観光客の受入体制の整備			
担当部課名	観光商工 スポーツ部	観光商工課	事業実施 年度	平成 28	～ 令和 元	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所		
事業内容	新城海岸トイレ・シャワー施設における水利用の衛生面を改善し、観光客の利便性向上を図るため、水道管敷設工事を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )							
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計		
	A. 予算現額	90,558				90,558		
	B. 執行済額	76,912				76,912		
	うち 交付金充当額	61,529				61,529		
	執行率(%) (B/A)	84.9%				84.9%		
	執行状況の説明	資材単価及び労務単価の高騰及び岩発生による設計変更等により、8,875千円を増額したが、道路復旧幅を変更する設計変更を行ったことにより、13,646千円の不用が発生した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
				R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	水道管敷設工事の業務実施		目標	工事实施	-	-	-	-
			実績	工事实施	-	-	-	-
			目標		-	-	-	-
			実績		-	-	-	-
		目標						
		実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
				R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	新城海岸水道管敷設工事業務の完了		目標	工事完了	-	-	-	-
			実績	工事完了	-	-	-	-
			目標		-	-	-	-
			実績		-	-	-	-
		目標						
		実績						

**事業完了後の取り組み**

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
			R2年度	R3年度 目標/発現年度			
事業完了後の成果目標	観光客の満足度向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	80%以上	80%以上	—		
		実績	新型コロナの影響でアンケート未実施	96.50%	—		
	目標	—	—	—			
	実績	—	—	—			

状況説明	【R2年度】 ・新型コロナウイルス感染症の影響によりアンケートを実施することができなかった。
	【R3年度】 ・観光客満足度は96.5%となり、目標を大幅に上回った。
	【 年度】 ・

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【R3年度】 ・メディアや観光雑誌等で度々紹介される等観光地としての注目度が高まっていることから当該施設の更なる活用促進が期待できる。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>	<p>【R3年度】 ・施設の水道管整備に伴い、衛生面及び利便性が向上されるので、今後は、更なる認知度向上や魅力の発信、アクセス方法の紹介に努める必要がある。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>
--	--

**今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)**

<p>【R3年度】 ・清掃やメンテナンス、衛生管理を徹底し、利用者の満足度向上を図る。 ・観光誘客イベント等で更なる認知度向上や魅力の発信、アクセス方法の紹介等を行う。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>
--

市町村名	宮古島市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】						
事業名	観光施設美装化事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(エ) 観光客の受け入れ体制の整備	
担当部課名	農林水産部	農政課	事業実施 年度	令和 1年度	～ 令和 1年度	沖縄振興基本方針 該当箇所
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力的な観光地としての景観形成を図るため、竜宮城展望台内外壁を塗装し、壁画を描き入れる。</li> <li>外国人観光客の受け入れ環境整備のため、多言語型の案内板を設置する。</li> </ul>					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
	A. 予算現額	10,340				10,340
	B. 執行済額	10,221				10,221
	うち 交付金充当額	8,177				8,177
	執行率(%) (B/A)	98.8%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	98.8%
執行状況の説明	事業計画どおり執行できた。不用額119千円については入札残金。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
			R1年度	○年度	○年度	○年度
	竜宮城展望台塗装改修工事の実施	目標	工事完了			
		実績	工事完了			
		目標				
		実績				
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
			R1年度	○年度	○年度	○年度
	竜宮城展望台塗装改修工事の完了	目標	工事完了			
		実績	工事完了			
		目標				
		実績				

**事業完了後の取り組み**

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
		R2年度 目標/発現年度	R3年度 目標/発現年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度	
事業完了後の成果目標	・魅力的な観光地にふさわしい景観となっているか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	80%以上	80%以上			
		実績	—	91.9%			
	目標						
	実績						

状況説明	【令和2年度】 ・令和2年度の成果目標については、新型コロナウイルス感染症の影響で空港アンケートを延期。
	【令和3年度】 ・令和3年10月25日～11月30日までの期間、宮古空港及び下地島空港で観光客を対象としたアンケートを実施。
	【 年度】 ・

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【令和3年度】 ・アンケートに回答頂いた260名の内、観光施設における回答では260人中239人が「やや満足」「大変満足」と回答しており、満足度は91.9%と高い状況となっている。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>	<p>【令和3年度】 ・アンケートの項目における満足度は91.9%となっており、満足度の維持、向上に向けて、美化環境に努める必要がある。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>
---	--

**今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)**

<p>【令和3年度】 ・新型コロナウイルスの収束はまだ見込めていないが、観光客は徐々に本市に来島している状況もあり、施設の適正管理、美化環境に努めながら観光客の満足度向上を図る。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>
---



市町村名	宮古島市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	観光地公園環境美化強化事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ 観光客の受入体制の整備		
担当部課名	建設部 都市計画課 観光商工部 観光商工課	事業実施 年度	平成 24	～ 令和 3	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	美しい島づくりを推進するため、宮古島観光地公園5箇所(東平安名崎公園、パイナガマ公園、カママ嶺公園、大嶽城趾公園、サニツ浜公園)及び伊良部島観光地公園7箇所(サバオキ公園、フナウサギバナ、白鳥公園、通り池、佐和田の浜、渡口の浜、牧山公園)の観光地として利用されている公園の環境美化清掃を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計	
	A. 予算現額	18,813	19,718	19,342	22,307	80,180	
	B. 執行済額	18,743	18,599	17,536	22,307	77,185	
	うち 交付金充当額	14,994	14,879	14,029	17,845	61,747	
	執行率(%) (B/A)	99.6%	94.3%	90.7%	100.0%	96.3%	
執行状況の説明	・当初計画通りすべて実施することが出来た。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	観光地公園12ヶ所の環境美化作業実施	目標	(12ヶ所)	(12ヶ所)	(12ヶ所)	(12ヶ所)	(12ヶ所)
		実績	12ヶ所	12ヶ所	12ヶ所	12ヶ所	12ヶ所
	【参考目標】 定期的美化作業 宮古島:年12回(月1回程度) 伊良部島:年4~5回	目標	宮古島:年12回 (伊良部島:年4~5回)	宮古島:年12回 (伊良部島:年4~5回)	宮古島:年12回 (伊良部島:年4~5回)	宮古島:年12回 (伊良部島:年4~5回)	宮古島:年12回 (伊良部島:年4~5回)
		実績	宮古島:年12回 伊良部島:年4~5回	宮古島:年12回 伊良部島:年4~5回	宮古島:年12回 伊良部島:年4~5回	宮古島:年12回 伊良部島:年4~5回	宮古島:年12回 伊良部島:年4~5回
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	観光地公園について、観光地としてふさわしい景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	-	-	80%	80%	80%
		実績	-	-	93.6%	未実施	95.9%
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み						
	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R2年度	R3年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	観光地公園について、観光地としてふさわしい景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	80%	80%		
		実績	未実施	95.9%		
	目標					
	実績					
状況説明	<p>【R2年度】 ・観光地としてふさわしい景観であるかについて、コロナ禍の影響もあり、アンケートの実施ができず、成果をはかることができなかった。</p> <p>【R3年度】 ・観光客アンケートの結果、95.9%の満足度があり、目標値を大幅に上回る満足度となった。</p> <p>【 年度】 ・</p>					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
<p>【R2年度】 ・コロナ禍の影響もあり、アンケートの実施ができず、事業効果の確認が困難であった。</p> <p>【R3年度】 ・R3年度はアンケートを実施することができ、観光客満足度も目標を上回る結果となり、事業効果が発現している。</p> <p>【 年度】 ・</p>			<p>【R2年度】 コロナ禍の影響があり、アンケート実施ができない状況でも、観光地としてふさわしい景観を保つために継続して環境美化に取り組む必要がある。</p> <p>【R3年度】 ・アンケート実施により、事業効果の発現が確認できたため、継続して環境美化に取り組む必要がある、アンケート自由意見等も参考にし、今後の取り組みに活かす必要がある。</p> <p>【 年度】 ・</p>			
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
<p>【R2年度】 ・事業効果の発現が確認できなかったが、R3年度も継続して環境美化に取り組む。</p> <p>【R3年度】 ・事業の効果が確認できたため、観光地としてふさわしい景観を保つために今後も継続して事業に取り組む。また、アンケート自由意見等も参考にしながら、今後の事業に活かしていく。</p> <p>【 年度】 ・</p>						

市町村名		宮古島市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	宮古島市海業センター整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ 農林水産業の振興		
担当部署名	農林水産部	水産課	事業実施 年度	平成 24	~ 令和 3	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(6)	
事業内容	水産物の安定的な種苗生産供給及び種苗栽培の技術者育成を図るため、宮古島市海業センターの機能強化整備を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )							
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		~H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計		
	A. 予算現額	539,161	80,186	53,665	82,000	755,012		
	B. 執行済額	538,657	80,186	53,665	79,117	751,625		
	うち 交付金充当額	476,204	64,149	42,932	63,294	646,579		
	執行率(%) (B/A)	99.9%	100.0%	100.0%	96.5%	99.6%		
執行状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30年度は資材調達や漁業者との調整により工事が遅れ、翌年度に繰り越した。</li> <li>・R1年度は工事に必要な船舶の需要増加による調達困難のため、翌年度に繰り越した。</li> <li>・R2年度は期間内に工事を完了。</li> <li>・R3年度は期間内に工事、委託を完了。</li> <li>・繰越となった年度はあったものの、最終的な執行率99.6%となりおおむね計画通りとなった。</li> </ul>							
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	・海業センター取水施設工事の実施	目標	取水管敷設工事 現場監理業務 磁気探査業務	-	-	機械設備工事 環境影響調査業務	供用開始	-
		実績	取水管敷設工事 現場監理業務 磁気探査業務	-	-	機械設備工事 環境影響調査業務	供用開始	-
	・海業センター水槽施設工事の実施	目標	水槽工事実施設計	水槽設置工事	水槽設備工事	供用開始	-	
実績		水槽工事実施設計	水槽設置工事	水槽設備工事	供用開始	-		
・海業センター研修施設工事の実施	目標	-	-	-	研修施設建築工事 現場監理御油無 備品購入	供用開始		
	実績	-	-	-	研修施設建築工事 現場監理業務 備品購入	供用開始		
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	・海業センター取水施設工事の完了	目標	取水管敷設工事の完了 現場監理業務の完了 磁気探査業務の完了	-	-	機械設備工事の完了 環境影響調査業務の完了	供用開始	-
		実績	取水管敷設工事の完了 現場監理業務の完了 磁気探査業務の完了	-	-	機械設備工事の完了 環境影響調査業務の完了	供用開始	-
	・海業センター水槽施設工事の完了	目標	水槽工事実施設計の完了	水槽設置工事の完了	水槽設備工事の完了	供用開始	-	
実績		水槽工事実施設計の完了	水槽設置工事の完了	水槽設備工事の完了	供用開始	-		
・海業センター研修施設工事の完了	目標	-	-	-	研修施設建築工事の完了 現場監理業務の完了 備品購入の完了	供用開始		
	実績	-	-	-	研修施設建築工事の完了 現場監理業務の完了 備品購入の完了	供用開始		

事業完了後の取り組み							
成果目標(指標)	達成/進捗状況						
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度 目標/発現年度	
事業完了後の成果目標	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果						
	シラヒゲウニ稚ウニの安定した種苗生産	目標	25,000 匹	25,000 匹	25,000 匹	25,000 匹	
		実績	0 匹	2,070 匹	14,267 匹	0 匹	- 匹
	タイワンガザミ稚ガニの種苗生産	目標	140,000 匹	140,000 匹	140,000 匹	140,000 匹	140,000 匹
		実績	109,789 匹	100,461 匹	0 匹	0 匹	- 匹
	研修施設利用者数の増員	目標	320 人	320 人	320 人	320 人	320 人
	実績	192 人	210 人	0 人	0 人	- 人	
状況説明	<b>【R3年度】</b> ・コロナの影響により、島外からの稚ウニの購入が出来ず、タイワンガザミは親ガニが確保出来なかったことから、種苗生産が出来ず、目標数量を達成できなかった。また、放流後の育成が悪く、漁業者への安定供給には至っていない。 ・令和2年度より、宮古島産モズクの親株から種苗培養を行っており、水槽施設でのモズクの種付けを実施。種付けしたモズクは令和2～3年度、収穫量が増産しており、今後の種付けにも大きく期待される。また、水槽施設でのシャコ貝の稚貝育成を行っているが、安定的な数量確保には至っていない。 ・新型コロナウイルスの影響により、研修施設の利用を制限したため、目標数量の達成は出来なかった。						
<b>【完了後】事業効果等の確認</b> (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			<b>【完了後】改善措置等の検討</b> (事業効果の更なる向上等)				
<b>【R3年度】</b> ・育苗生産数量が下回っていることについて、新規水槽の早期稼働及び育苗生産に必要な個体(親)の確保に課題があると思われる。 また、シャコ貝の育苗に注目度が高まっていることから、当該施設の更なる活用促進が期待できる。 ・研修施設は新型コロナウイルスの影響により施設の利用を制限したため、目標達成とはならなかった。			<b>【R3年度】</b> ・全水槽の常時稼働、育苗生産に努める必要がある。 ・今後、漁業で安定した収入が得られるような魚介類の種苗生産に努める必要がある。 ・研修施設の供用開始に合わせて、周知活動を行い、利用者の増加に繋げる必要がある。				
<b>今後の取り組み方針</b> (関連・同種事業へのフィードバック等)							
<b>【R3年度】</b> ・施設利用の呼びかけ、産卵用個体(親)の確保を行う。 ・ほかの魚介類(シャコ貝等)の種苗生産を行う。また、宮古島産モズクの親株の培養を行い、宮古島外へも供給できるよう、研究する。 ・研修施設の供用開始に合わせて周知活動を実施し、継続的にPR活動を行う。							

市町村名	宮古島市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】						
事業名	宮古島市陸上競技場機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-イ 能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進	
担当部課名	生涯学習部	生涯学習振興課	事業実施 年度	令和 2年度	～	令和 2年度
事業内容	宮古島市陸上競技場を大学や実業団チームも利用可能なトラックの複合弾性舗装や、競技数の拡大が可能となる障害池の深さの嵩上げ等、宮古島市陸上競技場の整備を行う。					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		～令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
	A. 予算現額	56,079				56,079
	B. 執行済額	56,079				56,079
	うち 交付金充当額	56,079				56,079
	執行率(%) (B/A)	100.0%				100.0%
執行状況の説明	当初交付決定金額56,776千円から、入札残等が生じたため減額を行った。減額幅も過大ではなく予算規模は適切であったと考えている。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
			令和2年度			
	宮古島市陸上競技場トラック・障害池機能強化工事	目標	機能強化			
		実績	機能強化			
	宮古島市陸上競技場備品購入	目標	備品購入			
		実績	備品購入			
	目標					
	実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
			令和2年度			
	宮古島市陸上競技場トラック・障害池機能強化工事完了	目標	完了			
		実績	完了			
	宮古島市陸上競技場備品購入完了	目標	完了			
		実績	完了			
	目標					
	実績					

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		令和3年度	〇年度	〇年度	〇年度	〇年度 目標/発現年度
	島外からの合宿受入数:20件		目標	20件			
			実績	10件			
			目標				
		実績					
状況説明	<p>【令和3年度】          ・令和3年度の成果目標である、島外からの合宿受入数は、目標の50%にとどまった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため利用制限及び、島外・県外からの渡航自粛要請が影響によるものもである。</p>						
<b>【完了後】事業効果等の確認</b> (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			<b>【完了後】改善措置等の検討</b> (事業効果の更なる向上等)				
【R3年度】 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業効果が十分に発現している状況にはなく、コロナ禍収束後に事業効果の発現が期待される。  【 年度】  【 年度】			【R3年度】 ・コロナ禍収束時にスムーズに合宿受け入れ可能となるように、合宿受入施設の管理集約化に取り組み、受け入れ体制を整えることで、目標達成につなげる。  【 年度】  【 年度】				
<b>今後の取り組み方針</b> (関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R3年度】 ・宮古島市スポーツ協会、県スポーツ協会等関係機関と連携し、島外からの合宿受け入れを積極的に行う。一方で、新型コロナウイルス感染の状況が見通せないため、利用者の安心安全を優先し、必要があれば利用制限を設ける等の対策を取りながら、継続的な合宿誘致を行う。  【 年度】  【 年度】							

市町村名	宮古島市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】						
事業名	演奏活動推進事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-(ア) 地域を大切に、誇りに思う健全な青少年の育成	
担当部課名	教育部	学校教育課	事業実施 年度	令和 2年度	~	令和 2年度
事業内容	低所得の割合が高い当市において、高価な楽器を購入することは負担が大きく、難しい状況である。吹奏学部の楽器整備が十分ではない学校に、必要な楽器を整備することで児童生徒の意欲向上、地域イベント等に参加することにより地域活性化を図る。					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		R2年度	○年度	○年度	○年度	合計
	A. 予算現額	3,135				3,135
	B. 執行済額	3,135				3,135
	うち 交付金充当額	2,508				2,508
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%
執行状況の説明	計画どおり事業執行し完了。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
			R2年度	○年度	○年度	○年度
	吹奏楽器の整備 (宮古島市立下地中学校)	目標	10台・1式			
		実績	10台・1式			
		目標				
		実績				
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
			R2年度	○年度	○年度	○年度
	吹奏楽器の整備完了	目標	完了			
		実績	完了			
		目標				
		実績				

事業完了後の取り組み						
成果目標(指標)	達成/進捗状況					
		R3年度	○年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果						
・楽器の整備により部員の音楽に対する意欲が向上したか(80%以上)を含め、部活動のあり方についてアンケート調査により検証する。	目標	80%				
	実績	78.0%				
楽器購入後に参加した複数のイベントへの総来場者数	目標	6,000人				
	実績	-				
<b>事業完了後の成果目標</b>  状況説明	【R2年度】 ・不足していた楽器の整備が完了し、部活動の充実が図られた。					
	【R3年度】 ・楽器の整備後、練習への取組や向上心の増大、コンサートやコンクールへの積極的な参加等、意欲の向上がみられた。 ・コロナ禍において、練習機会が増大したとはいえ、イベント実施見送りによりアンケートの結果は目標値に届かなかった。 ・コロナ禍の影響により参加予定イベントが制限されたため実績値の把握ができない結果となった。					
<b>【完了後】事業効果等の確認</b> (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			<b>【完了後】改善措置等の検討</b> (事業効果の更なる向上等)			
【R3年度】 ・コンクールやコンサートへの参加が増え、県大会で金賞を受賞する等、意欲や技術が向上した。 ・コロナ禍においてイベントの開催がなく、音楽活動による地域活性化が図られなかった。			【R3年度】 ・整備した楽器を十分に活用し、演奏技術の習得への意欲向上を図り、コンクール等への積極的な参加を促す。			
【 年度】 ・			【 年度】 ・			
【 年度】 ・			【 年度】 ・			
<b>今後の取り組み方針</b> (関連・同種事業へのフィードバック等)						
【R3年度】 ・指導者の育成や、音楽活動による地域活性化につながるイベントへの積極的な取組等を推進する。						
【 年度】 ・						
【 年度】 ・						



市町村名		宮古島市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	高等教育機関の設置検討事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第5章-3-(4)-エ 生活圏の充実		
担当部課名	企画政策部	企画調整課	事業実施 年度	平成 28 ~ 令和 2 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-9	
事業内容	実際の高等教育機関の運営形態に近似する学生募集・入学・就学・卒業・就職の一連の流れを実施することで、本市における高等教育機関設置に向けた実現性の検証を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		~H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計	
	A. 予算現額	14,148	32,959	36,300	52,800	136,207	
	B. 執行済額	12,027	23,141	35,019	52,800	122,987	
	うち 交付金充当額	10,342	8,512	28,014	42,240	89,108	
	執行率(%) (B/A)	85.0%	70.2%	96.5%	100.0%	90.3%	
執行状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実証したコースはともに定員を満たすことができ、本市における高等教育機関の可能性について把握できた。</li> <li>・HPのアクセス実績から、県内外からの学生確保の可能性が把握できた。</li> </ul>						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	高等教育機関の設置実現に向けた実証業務の実施	目標	設置可能性の調査	設置検討に関する調査	設置具体化の検討	実現性近似検証	実現性検証
		実績	設置可能性の調査	設置検討に関する調査	設置具体化の検討	実現性近似検証	実現性検証
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	高等教育機関の設置実現に向けた実証業務の完了、高等教育機関の設置認可 1件以上	目標	条件模等の整理、ニーズ検討 損益試算	検討委員会、 ワークショップ	実証基盤の整理・ 検討	実情比較の学生募集~就職・ 経営試算	実践研修と企業マッチング、開 校条件確認
		実績	条件模等の整理、ニーズ検討 損益試算	検討委員会、 ワークショップ	実証基盤の整理・ 検討	実情比較の学生募集~就職・ 経営試算	高等教育機関との設置協定 締結
		目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input checked="" type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 目標/発現年度
	高等教育機関の設置認可 1件以上		目標	1件以上			
			実績	—			
			目標	—			
		実績	—				
状況説明	<p>【 R3年度】 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、設置認可予定となっていた学校法人の事業撤退となった。引き続き、実証結果を基に、高等教育機関設置に取り組んでいく。</p> <p>【 R4年度】 ・</p> <p>【 R5年度】 ・</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【 R3年度】 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、設置認可予定の学校法人が撤退となった。</p> <p>【 R4年度】</p> <p>【 R5年度】</p>			<p>【 R3年度】 ・継続して高等教育機関の設置に向け取り組んでいく。</p> <p>【 R4年度】</p> <p>【 R5年度】 ・</p>				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【 R3年度】 ・高等教育機関の設置について、広報の方法、開講コース及び生徒募集の可能性が確認できているため、今後は新型コロナウイルス感染症拡大などの不測の状況変化にも対応を考慮しつつ、設置に向け取り組んでいく必要がある。</p> <p>【 R4年度】</p> <p>【 R5年度】</p>							

市町村名		宮古島市				
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】						
事業名	地下水保全調査事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第5章-3-(4)-エ 生活基盤の充実	
担当部署名	水道部	水道総務課	事業実施 年度	平成 29	令和 2	年度 III-10-1
事業内容	<p>地下水を唯一の淡水資源とする本市では、水道水源の保全が社会の成立案件となっていることから、持続的な社会を構築するため、地下水の保全に取り組むための水源地選定調査、モニタリング調査を行う。</p> <p>①伊良部島における水源候補地選定調査 ②平良地下水流域における水源候補地選定調査及び流域保全方針検討 ③地下水に含まれる硝酸性窒素の起源別割合検討調査</p>					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計
	A. 予算現額	98,388	34,560	79,037	110,612	322,597
	B. 執行済額	98,388	34,560	77,000	110,612	320,560
	うち 交付金充当額	78,710	27,648	61,600	88,489	256,447
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	97.4%	100.0%	99.4%
執行状況の説明	・最終的な執行率は99.4%となり、ほぼ計画的に執行できた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
			R2年度	○年度	○年度	○年度
	①伊良部島における水源候補地選定調査	目標	実施			
		実績	実施			
	②平良地下水流域における水源候補地選定調査及び流域保全方法検討	目標	実施			
		実績	実施			
③地下水に含まれる硝酸性窒素の期限別割合の現状把握調査	目標	実施				
	実績	実施				
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
			R2年度	○年度	○年度	○年度
	①伊良部島における水源候補地選定調査の完了	目標	完了			
		実績	完了			
	②平良地下水流域における水源候補地選定調査及び流域保全方法検討の完了	目標	完了			
		実績	完了			
③地下水に含まれる硝酸性窒素の期限別割合の現状把握調査の完了	目標	完了				
	実績	完了				

**事業完了後の取り組み**

成果目標(指標)	達成/進捗状況					
		R3年度	○年度	○年度	○年度	○年度
<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果 R3年度に伊良部島内に予備水源地1箇所確保	目標	1箇所確保				
	実績	1箇所の候補地を選定				
R3年度に平良地下水流域の水源地1箇所確保	目標	1箇所確保				
	実績	1箇所の候補地を確保				
本年度実施する流域保全方針検討の結果を踏まえ、平良地下水流域の水道水源保全地域の設定し、安全な生活用水の確保につなげる。	目標	平良地下水流域の水道水源保全地域への設定				
	実績	平良地下水流域を水道水源保全地域に設定完了				
本年度実施する硝酸性窒素の現状把握調査結果を踏まえ、地下水に含まれる硝酸性窒素の削減目標を設定し、安全な生活用水の確保につなげる。	目標	硝酸性窒素削減目標の設定				
	実績	4つの指標に分けて設定完了				

事業完了後の成果目標

状況説明

【R3年度】  
 ・伊良部島においては令和2年度の調査で予備水源地選定として候補地で揚水試験を行い、約570m<sup>3</sup>/日の揚水量が望め地下水質としても比較的良好な箇所を1箇所選定したが、用地交渉等を含め水源地としての実用化に向けてはこれから進めていくので、「確保」という当該目標の成果でいえば、「未達成」といえる。  
 ・平良地下水流域内においては、令和2年度の調査で新水源候補地として候補地で揚水試験を行い、約2,000m<sup>3</sup>/日の揚水量が望め地下水質としても良好な箇所を1箇所確保した。  
 ・平良地下水流域の水道水源保全地域の確定においては、平良流域の流域界を見直し、流域内に存在するニヤーツ水源地並びに、新水源候補地である旧水道庁舎周辺に影響を及ぼす範囲を水道水源保全地域として指定した。  
 ・業務結果から市の地下水保全に係る施策及び諸計画の検討においては、令和3年度から令和12年度までの本市における地下水利用計画である「第4次地下水利用基本計画」を策定し、新しく指定された平良地下水流域の一部を含む水道水源保全地域内で、対象事業である「多量の水を排水する事業(設置浄化槽規模51人以上)」等について調査を行った。  
 ・硝酸性窒素の起源別割合検討業務の結果を踏まえ、地下水に含まれる硝酸性窒素の削減目標を「指標ア(水道水源値)、指標イ(市街地)、指標ウ(農村地域)、指標エ(伊良部)」の4つの指標に分けて設定を行った。(エコアイランド宮古島宣言2.0参照)

<b>【完了後】事業効果等の確認</b> (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	<b>【完了後】改善措置等の検討</b> (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

【R3年度】  
 ・伊良部島内、平良地下水流域内の新たな水源候補地の選定により、今後において水源地としての設置に向けた計画の策定を行うこととする。  
 ・平良地下水流域の水道水源保全地域への指定については、新たに指定された地域内での規制対象事業の事前協議に係る新規施設建設等による確認件数が増加している。  
 ・それぞれの地域毎に指標を定めることにより、地域の特性を踏まえた対策を講じた。

【R3年度】  
 ・伊良部島においては新たな水源候補地の確認がされたが、その周辺には他の淡水が存在する可能性が大きいため、今後も周辺地域でのボーリング調査の増加、水質調査、土地利用調査などを行い新たな予備水源地候補地の選定に繋げていく。  
 ・平良地下水流域の水道水源保全地域への指定については、新たに指定された地域内での対象事業となる既存施設との事前協議により、施設管理者の理解を得ながら、排水水質基準の遵守を目的とした水道水源保全協定を締結していき、市の地下水の保全を図っていく。  
 ・宮古島市地下水モニタリング調査業務の数値と、定めた指標の目標値を照らし合わせながら、対策の効果等の検討をしていく。

**今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)**

【R4年度】  
 ・伊良部島においてはあらたな予備水源地候補地の検討並びにその候補地の地下水保全の為の対策方法を検討する。  
 ・水道水源保全については、新たに指定された地域内での新規・既存の規制対象施設との水道水源保全のための協定締結に努めていく。  
 ・引き続きモニタリング調査を行い、各流域の地下水に含まれる硝酸性窒素濃度を監視・考察していく。